

提案するアイデア「リサイクルで醸成するコミュニティ」

1 背景・趣旨

「もったいない」を体現するリサイクル。安いものが簡易に手に入ります。欲しいものがきっちりと手に入る物々交換制度があればなおさらです。子供のものであれば親子連れですし、世代交流が増します。本件はそれらのお店、イベント、交流に関する提案です。

2 内容

自治体が不用品回収を実施しているのでその中から再利用可能なものを簡単に修理するなどしてリサイクル市などを定期的で開催します。

上記自治体の不要品を含め住民から申し出のある不用品を登録しておく店を設置します。インターネット上でもよいのです。目録には、品名、状況、特記事項などが記載されません。

リサイクル市の開催は現物が見られる良い機会と位置づけこの店が行います。

その上で毎月一定の日に抽選を行い希望者に廉価で提供するための連絡をします。ただしこの場合、希望者があらかじめ別の不要品の提供を申し出ていたとしますと、当該提供者が仮に希望者となる場合は優先して提供されることとなります。形を変えた物々交換ということになります。

3 効果

特定のお店が仲介するので信用が増します。

お店は仲介役で、物の引き取りなどは直接行うので住民同士の交流が促進されます。

子供の品などの時は親子連れとなるので世代交流促進の一助になります。